

# 精神障がいのある親と子の暮らし

— 私たちの住む地域にどのようなサポートがあるか —

令和二年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業  
「精神疾患をもつ親の子どもへのサポートにおけるネットワーク構築事業」

NPO東京ソテリアでは、  
精神障がいのある親と子の暮らしの相談をおこなっています。  
その内容は多岐にひろがり、  
様々なネットワークのなかで支えています。  
本年度、WAM助成事業を活用し、  
各地での取り組みを学び、  
本人や支援をする人の話を聴きながら、  
子どもたちへの新たななかかわりを始める準備をしています。  
このシンポジウムでは、先駆的な活動の報告をもとに、  
私たちの住む地域にどのようなサポートがあると  
より役立つことができるのか、  
皆さまとともに考えていきたいと思ひます。

11月29日(日)

2020年

14:00~16:00 (13:30より受付)

タワーホール船堀 2階「桃源の間」

東京都江戸川区船堀4-1-1  
都営新宿線船堀駅下車 徒歩約1分

または **オンライン** 参加

※オンライン参加の申込みをいただいた方には、事前に配信URLとパスワード(ZOOM)をお送りします

## 参加費無料・要予約

定員:180名(タワーホール会場60名 オンライン参加120名)

対象:福祉・医療関係者、保育・教育関係者、児童・民生委員、その他、地域福祉に興味のある方

- ※会場またはオンライン参加から選択できます
- ※感染症の状況により、オンライン開催のみとなる場合がございます
- ※オンライン参加にはZoomを使用します
- ※参加申込みをいただいた方には事前に配信URLとパスワードをお送りします
- ※会の録音・録画はお控えください
- ※後日、会の内容を動画配信予定です

第一部 基調講演 精神科医師 松本俊彦氏  
「精神障がいをもつ親と子の暮らし—依存症を中心として—」

第二部 パネルディスカッション  
「私たちの住む地域で精神疾患をもつ親の子どもへのサポートを始めるために」  
ソーシャルワーカー・弁護士 安井飛鳥氏  
公益社団法人東京都助産師会江戸川地区分会 助産師・保健師 金城順子氏  
東京ソテリア職員 及川博文、海老名直也



### 松本 俊彦 氏

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長。  
同センター病院薬物依存症治療センターセンター長を併任。  
薬物依存症の治療プログラムSMARPPの開発と普及に関する研究、  
ならびに自傷行為の臨床研究、心理学的剖検の手法を用いた  
自殺の実態解明に関する研究を行う。



### 安井 飛鳥 氏

弁護士法人ソーシャルワーカーズ副代表。  
ソーシャルワーカーとときどき弁護士。  
主に児童相談所勤務弁護士や社会的養護アフターケア事業所相談員として  
子ども若者支援に従事している。  
ミッションは「どんな子どもや大人も排除されることのない楽しいまちづくり」。

## 申し込み方法



東京ソテリアのホームページからお申込みください。  
<https://soteria.jp/a/4511>

## お問合せ

地域活動支援センターはるえ野  
Tel: 03-5664-6070 Email: [info@soteria.jp](mailto:info@soteria.jp) (担当:高田)  
主催:特定非営利活動法人東京ソテリア